

ブラジル政治情勢（4月の出来事）

【内政】

1. ルーラ元大統領に対する刑事訴訟の裁判管轄権に関する連邦最高裁判所大法廷審理

- (1) 4月14～15日、ルーラ元大統領に対する刑事訴訟4件に関し、クリチバ市に所在する第13連邦裁判所に管轄権がないことを認めた連邦最高裁判所(STF)の仮処分判決に関する審理が同大法廷において行われたところ、右判決が8対3で支持され、ルーラ元大統領の第13連邦裁判所による有罪判決の取消が確認された。
- (2) 4月22日、STFは、上記4件の刑事訴訟にかかる管轄権についてはブラジル連邦裁判所が所管する旨決定し、連邦検察の上訴を多数決で棄却した。

2. モーロ元判事の忌避に関する連邦最高裁判所大法廷審理

4月22日、ルーラ元大統領が関与したとされる三層マンション（サンパウロ州グアルジャ市所在）をめぐる刑事訴訟に関し、セルジオ・モーロ元判事の忌避を宣言した STF 第二小法廷の決定につき、全11名の STF 判事のうち7名が賛成した。

3. 2021年予算ガイドライン法案の大統領裁可

4月21日、ボルソナール大統領は2021年連邦政府予算ガイドライン法改正法案を裁可した。裁可するに際して、290億レアル分の歳出の再調整が必要とされ、この再調整は198億レアルが部分的拒否権によって行われ、更に90億レアル以上が支出停止された。拒否された予算は補正予算法案にて補填され、議会に送付されることとなる。

4. 新型コロナウイルス感染症に関する議会調査委員会の設置

- (1) 4月27日、上院にて新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会(CPI da Pandemia)が設置され、同初回会合において、以下のとおり委員長、副委員長及び報告官が選出された
- 委員長：オマール・アジス上院議員（PSD：社会民主党）
 - 副委員長：ランドルフ・ロドリゲス上院議員（REDE：持続可能性ネットワーク）
 - 報告官：レナン・カリエイロス上院議員（MDB：伯民主運動）
- (2) 4月29日、本件 CPI は、マンデッタ元保健大臣、タイシ元保健大臣、パズエーロ前保健大臣、ケイローガ現保健大臣及びトーレス衛生監督庁(ANVISA) 長官を召喚する旨の要望書を承認した。

【外交】

1. 伯露首脳電話会談

4月6日、ボルソナーロ大統領は、プーチン露大統領と電話会談を行い、ロシア製ワクチン「スプートニク」の購入及び伯国内における製造、二国間貿易、防衛産業及び科学技術における協力等につき協議した旨 SNS に投稿した。

2. フランサ外務大臣による就任演説

4月6日、フランサ外務大臣は就任演説を行い、伯外交の優先事項として、保健、経済、持続可能な開発の3分野を取り上げた。

3. バイデン米大統領宛ボルソナーロ大統領書簡

4月16日、ボルソナーロ大統領はバイデン米大統領に書簡を送り、環境保護、気候変動及び持続可能な開発といった国際的取組に対する伯のコミットメントを強調した。

4. ボルソナーロ大統領による米国主催気候サミットへの出席

4月22日、ボルソナーロ大統領は、米国主催の気候サミットに出席し、カーボンニュートラルの達成期限目標を10年前倒しして2050年とする旨宣言した。また、同大統領は、その実現のため、森林規制の即時完全な適用により2030年までに違法伐採を撲滅することを約束し、その期限までに伯の排出量をほぼ50%削減すると述べた。更に、ボルソナーロ大統領は、環境部門を強化して取り締まりのリソースを倍増することや、アマゾン地域における伯国民の生活改善等の取組にもコミットすることを誓った。

5. メルコスール共同市場理事会の開催

4月26日、ゲデス経済大臣及びフランサ外務大臣は、リモート形式で行われたメルコスール共同市場理事会（CMC）に出席し、対外共通関税（TEC）の即時10%引下げ及び本年末までに追加的に10%引き下げる旨のウルグアイ案に賛同した。

6. フランサ外務大臣による各国外相及び国際機関トップとの電話会談

4月、フランサ外務大臣は、中国（9日）、パラグアイ（10日）、ボリビア（10日）、アルゼンチン（10日）、ウルグアイ（10日）、チリ（10日）、ガイアナ（10日）、スペイン（13日）、コロンビア（13日）、スリナム（14日）、エクアドル（14日）、モザンビーク（15日）、ペルー（15日）及びトルコ（21日）の外務大臣、WTO 事務局長（8日）、国連事務総長（15日）及びWHO 事務局長（21日）と電話会談を行った。

トピックス

1. 東京オリンピック・パラリンピックに関するウェビナーの実施

3月8日、在ブラジル大使館はブラジリア元国費留学生会（ABRAEX）と共催・伯市民省スポーツ特別部局、伯オリンピック委員会、伯パラリンピック委員会後援で東京オリパラに関するウェビナーを実施した。日本からは丸川珠代オリパラ担当大臣から、伯側から、アンドレ・アルベス伯スポーツ庁特別事務局長及びブルーノ・ソウザ伯スポーツ庁次長（オリンピック:ハンドボール）、バンデルレイ・ブラジル・オリンピック委員会会長並びにミザエル・ブラジル・パラリンピック委員会会長からビデオメッセージが寄せられた他、山田大使が挨拶した。

中村英正・東京オリンピック組織委員会 Game Delivery Officer から直接、東京オリンピック・パラリンピックの準備状況を説明するとともに、ホジェイオ・サンパイオ伯オリンピック委員会事務局長（バルセロナオリンピック柔道金メダリスト）とトークセッションを行った。

ウェビナー動画は、以下に公開している。

日本語 <https://www.youtube.com/watch?v=flj2x-lX0tl>

ポルトガル語 <https://www.youtube.com/watch?v=l3-MzmBRsT8>

2. Bunkyo Rural 主催セミナー「アグロフォレストリーシステム ～新たなアマゾンニア～」への参加

16日、山田大使は Bunkyo Rural（文協農業関連交流会）が主催するセミナー「アグロフォレストリーシステム ～新たなアマゾンニア～」にオンラインで参加した。セミナーでは、ブラジル農務省のクレベール・オリベイラ・ソアレス・イノベーション局長、パラ州立大学のアルフレド・ホンマ教授、CAMTA（トメアス混植農業協会）のアルベルト・オッパタ会長、JICA の江口雅之事務所長、ナチュラ社のカミラ・コスタ・コーディネーター、ポロ・デ・イノヴァサウン・アグリ社のジェルジ・ヒラカワ・コーディネーターから、トメアス地域におけるアグロフォレストリーシステムに関する講演が行われた。



セミナーの動画は、以下に公開している。

<https://www.youtube.com/watch?v=uXy55yFCNvc>

3. 「和食道～Caminho da Gastronomia Japonesa～」広報動画発信（在サンパウロ総）

26 日、在サンパウロ日本国総領事館は公式 YouTube チャンネル上にて「和食道～Caminho da Gastronomia Japonesa～」と題した全 8 本の短編動画シリーズの配信を開始。

サンパウロ市内には、約 1000 もの日本食レストランがあるとも言われており、同市は南米における日本食普及の中心地。今回のシリーズでは、日系人の料理人 2 名（テルマ・シライシ氏、エジソン・ヤマシタ氏）と、日本人料理人 2 名（村中香織氏、江頭啓介氏）にご協力を頂き、料理人と在サンパウロ日本国総領事桑名良輔の対話を通して、食という切り口から日本文化の精神や日伯交流について発信。

今回のシリーズは、普段、日本食に馴染みのないブラジルの方々にも、日本食にまつわる文化、考え方、そして日本食料理人の想いを知っていただくことにより、少しでも日本食に興味を持って頂くことを目的としている。



現在第 1 話から第 4 話まで、以下に公開している。

第 1 話 <https://www.youtube.com/watch?v=3OQq5cMpiwE>

第 2 話 <https://www.youtube.com/watch?v=tj2rzEdosu0>

第 3 話 <https://www.youtube.com/watch?v=JlrzkLh0z5k>

第 4 話 <https://www.youtube.com/watch?v=0RFy9uk5TMQ>

4. 令和 3 年春の叙勲受章者の決定

4 月 29 日、日本政府は令和 3 年春の叙勲受章者を発表した。ブラジル在住の受章者は 10 名（邦人叙勲 2 名、外国人叙勲 8 名）である。

各公館の管轄ごとの詳細は、以下に公開している。

<https://www.br.emb-japan.go.jp/files/100183360.pdf>

大使館からのお知らせ

1. 文化イベント

- (1) 「和食道～Caminho da Gastronomia Japonesa～」 (サンパウロ総)

日時：4月26日配信開始

サイト：<https://www.youtube.com/channel/UCbCfrf-scgEgIm6aSVU33Cg>(在サンパウロ総公式 YouTube ページ)

内容：在サンパウロの料理人と在サンパウロ日本国総領事桑名良輔の対話を通して、食という切り口から日本文化の精神や日伯交流について発信。全8本の短編動画シリーズを配信

- (2) Geek & Matsuri SESI Osasco Edição Especial Online (国際交流基金)

日時：5月3日(月)～7日(金)

サイト：<https://osasco.sesisp.org.br/noticia/save-the-date-geek--matsuri-sesi-osasco---edicao-especial-online>

内容：ポップカルチャーに特化したコンテンツをオンライン配信するイベントで、国際交流基金サンパウロ日本文化センターからは、5月5日(水)10時～ コロッケの作り方動画、5月7日(金)15時～ 紙芝居動画を提供する。

- (3) Tradução em foco (国際交流基金)

日時：5月中

サイト：<https://fjisp.org.br/traducaoemfoco/>

内容：ブラジルで活躍する日本文学等の翻訳者の活動を紹介するエッセーシリーズ。

- (4) コロナ関連エッセー事業 (国際交流基金) (国際交流基金)

日時：5月中

サイト：<https://fjisp.org.br/estudos-japoneses/artigos/>

内容：新型コロナやカタストロフをテーマに、日本研究者に文章を投稿してもらう事業。

- (5) Destaques da biblioteca (国際交流基金)

日時：5月下旬

サイト：<https://fjisp.org.br/destaques-da-biblioteca/>

内容：国際交流基金サンパウロ日本文化センターに収蔵されている図書資料

等を紹介する事業。

2. 外務省 海外安全ホームページ

(1) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(2) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(3) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開している。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(4) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和2年度第四半期）は以下のとおり。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

3. ブラジル渡航情報

(1) 危険情報

最新更新日：2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏
- ・バイア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(2) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020 年 8 月 6 日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(3) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019 年 6 月 10 日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html